



学生の相談に応じる八戸学院大の職員（左）。新型コロナウイルス感染拡大の影響は大学生の就職活動にも及んでいる＝9日、同大

新型コロナウイルス関連記事2～5、14、16、30

新型コロナ 合同説明会 軒並み中止

八戸 就活生戸惑い

2021年卒業予定の大学生・大学院生が就職活動を本格化させる中、新型コロナウイルスの感染拡大が「就活事情」に影響を及ぼしている。1日に新卒採用の会社説明会が解禁された

が、八戸市内の大学などで、今月上旬に開催予定だった学内の合同説明会が軒並み中止に。学生にウェブセミナーの活用を促すなど対策を講じているが、従来とは異なる状況に、学生が

らは「多くの企業から話を聞けないのは不安」との切実な声も漏れる。

3月4日に開催予定だった説明会を取りやめた八戸学院大。青森県内企業を中心に40社が参加予定だったが、やむなく中止を決めた。

近年は就職の相談を訪れる学生は減少傾向にあったが、今年はウイルスの拡大が顕著になってから相談件数が増加。例年の就職活動では、学生が合同説明会の機会を活用して企業側と接触した後、個別の採用試験などに臨むケースが多かったため、スケジュール管理などで戸惑う学生もいるという。

同大では、学生にインターネットを活用したウェブセミナーへの参加や積極的な情報収集を呼び掛けている。

る。キャリア支援課の担当者は取材に「学生にも心配はあると思う。全力で頑張ってもらえるようサポートしたい」と強調した。

会の実施を見送っている。八戸工業大は3月10日から4日間の日程で予定だった合同就職説明会の中止を決定。八戸高専も毎年恒例の企業内容説明会の開催を断念した。

八戸工業大就職課の担当者は「学生から『企業研究はどうしたら良いか』との相談も寄せられている。企業などと情報共有しながら、支援やケアを講じていきたい」とした。

話を聞けないのは不安だし、ウェブだと熱意をうまく伝えられないのではないかと困惑した様子。県外就職を希望する八戸工業大3年の男子学生は「ウェブを使うことで手間は省けるが、当初想定していた就活の形が急に変わったので戸惑いはある」と話した。（福田駿）